

チャレンジャーでありたい

春寒の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
会長の叙勲祝賀会が開催されるなか(社員の皆様のご支援大変ありがとうございます)、他方では、船井総研さんと一緒に企業理念や当社の足りない部分の整備にとりかかりました。



代表取締役社長 吉田治伸

先日もある部門長の「雇ってやってる」「買ってやってる」発言を注意しました。社員の皆さんも取引業者さんも会社に利益を与えて下さっているのです。それにあなたがお金を払っているわけではありません。お客様から頂戴したお金でお支払いしているのです。タダで実行できる「笑顔・挨拶・報連相・身だしなみ」はお客様に対してのみでなく、社員同士、取引業者さんにも発信している言葉です。職場の規律を守った上で、「気持ちよく仕事する」、「楽しく仕事する」は、大前提であります。しかし、そういった大原則すらなかなか伝わらないものであります。

表題の「チャレンジャーでありたい」は、最近の私の重要なテーマであります。クレーム等が発生し、大変革をお願いしても、結果は「従来通り」に少し手を加えただけという事をよく見かけます。「王者気分」で仕事をする者にとってクレームは、「他社と同じになれば良い。」です。それも「他社」とは「たいして良くない仕事をしている他社」を基準にしています。当社の仕事が他社と同じであれば、「負け」だという事をよく理解していただきたいと思っています。アンケートでも「普通」の評価の商品が購入される事はありません。チャレンジャーが目指すものは、「同じ」ではなく「あきらかに勝つ」です。

他社よりあきらかに勝ったサービスを行い、お客様から尊敬され、喜ばれる皆さんの事をいつもイメージしております。

まだまだ、寒い日が続きますが健康にご留意下さい。